

モビリティDXプラットフォーム NEWSLETTER

第8号



モビリティDXプラットフォーム 今後のイベントについて

プラットフォーム会員交流イベント(第3回案内)

2025年2月7日(金) 16:00~20:00

自由な情報共有・ディスカッションや交流

プラットフォーム会員交流イベント

— 第3回 —



●概要

モビリティDXプラットフォーム会員同士の自由な情報共有・ディスカッションや交流のためのイベント

●目的

様々なテーマについて、会員の取組事例のプレゼンテーション、ディスカッション、ネットワーキングなどを行い、プラットフォーム会員同士の交流を促進するとともに、モビリティDXに関する知見を深めることを目指します。

●第3回概要

国内及び海外におけるSDVに対する取り組みの現状及び今後に向けた研究開発の動向について、登壇者からの取組事例紹介やトークセッションを行った後、懇親会(立食形式)を実施。

後日配信では一部講演、トークセッションの内容が割愛される予定です。ぜひ当日ご覧ください。

開催日時：2025 / 2 / 7 (金) 16:00 ~ 20:00

開催方法：現地参加 もしくは オンライン配信

※現地参加は定員となりましたので、オンライン参加を受付中!

開催場所：Deloitte Tohmatu Innovation Park Room D

アクセス：〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル 8F
JR有楽町駅 国際フォーラム口より徒歩3分
地下鉄有楽町駅 D5 出口より徒歩3分
地下鉄千代田線 二重橋前駅 出口1より徒歩2分

JR京葉線 東京駅B1F 地下コンコース 出口6より連絡

JR東京駅 丸の内南口より徒歩5分

●会場イメージ



● タイムスケジュール

Time	Agenda	Title・Contents	Speakers
16:00 (10min)		開会	経済産業省
16:10 (10min)	プレゼン ①	AI-Defined Vehicle時代における最新潮流と日本が取るべき構え	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 周 磊
16:20 (10min)	プレゼン ②	Tesla FSD (Supervised) の日本市場への導入に向けて	テスラ Ivan Komusanac
16:30 (10min)	プレゼン ③	SDV時代とヨーロッパの標準化動向	ボッシュ株式会社 クリスチャン・メッカー
16:40 (10min)	プレゼン ④	DRIVING THE DIGITAL FUTURE OF AUTOMOTIVE	クアルコムシーディー エムエーテクノロジーズ 松井 俊也
16:50 (10min)	プレゼン ⑤	日本のSDV開発の現状と将来に向けた取組	経済産業省 製造産業局 自動車課 モビリティDX室長 伊藤 建
17:00 (10min)		休憩	
17:10 (30min)	トーク セッション テーマ	開発促進に向けた今後のグローバル連携のあり方	登壇者5名 (モデレータ： 経済産業省 伊藤 建)
17:40 (30min)	質疑応答 ①		
18:10 (20min)		閉会	経済産業省
18:30 (90min)		懇親会	
20:00		終了	

※プレゼンテーションのタイトル、登壇の順番については変更になる可能性があります。

※英語講演は日本語の通訳がございます。

● 登壇者

● プレゼン 1

AI-Defined Vehicle時代における最新潮流と日本が取るべき構え



周 磊

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
執行役員 パートナー Business Model Innovation Unit Leader
大阪公立大学客員教授。モビリティ、ICT、電機など幅広い業界で国内外の多数のプロジェクトに参画。技術×ビジネスにおける戦略立案から実装まで一貫したコンサルティング経験を保有。

● プレゼン 2

Tesla FSD (Supervised) の日本市場への導入に向けて



Ivan Komusanac

テスラ

Head of EU Policy

Tesla のEU(欧州連合)での政策責任者。現在、欧州・中東・アフリカ地域でのTesla FSD (Supervised) 事業展開にも従事。

● プレゼン 3

SDV時代とヨーロッパの標準化動向



クリスチャン・メッカー

ボッシュ株式会社

代表取締役社長、ボッシュ モビリティ 東アジア・東南アジア

プレジデント 兼 最高技術責任者

1992年ボッシュ入社。仏日独にて技術営業や営業部門長等要職を経て、2020年ボッシュ株式会社取締役副社長、2024年代表取締役社長就任。同年ボッシュモビリティ東アジア・東南アジア地域プレジデント兼最高技術責任者就任。

● プレゼン 4

DRIVING THE DIGITAL FUTURE OF AUTOMOTIVE



松井 俊也

クアルコムシーディーエムエーテクノロジーズ

オートモーティブ統括本部長

1982年より半導体事業に従事し、民生機器、産業機器、自動車向け半導体製品、特にシステムLSIの商品企画、開発、マーケティング、ビジネスデベロップメントなどを経験。

● プレゼン 5

日本のSDV開発の現状と将来に向けた取組



伊藤 建

経済産業省

製造産業局 自動車課 モビリティDX室長

2005年経済産業省入省。これまで、質の高いインフラ輸出戦略の推進、世界貿易機関(WTO)ルール交渉、カーボンニュートラルに向けた環境エネルギー政策、医療DXの推進等を担当。

● トークセッション

開発促進に向けた今後のグローバル連携のあり方



周 磊



Ivan
Komusanac



クリスチャン・
メッカー



松井 俊也



伊藤 建

● 参加対象者

- モビリティ業界への興味を持っている方
- モビリティDXプラットフォームの会員同士で繋がりたい方

※自動車メーカー・サプライヤー、スタートアップ、大学・研究機関、異業種、学生・個人など幅広い方々の参加をお待ちしております

● 参加メリット

- テーマに関する会員の取組事例についてのプレゼンテーションを通じて、モビリティDXに関する知見を深めることが可能
- ディスカッション、ネットワーキングを通じて、プラットフォーム会員同士の交流の促進が可能

● 参加費用

無料 ※交通費は自己負担

● 参加方法

モビリティDXプラットフォーム会員交流イベント第3回のお申し込みはこちらよりお申し込みください。

https://www.jsae.or.jp/enquete/exchange_event03/

詳細は後日Webサイトに公開いたします。



未来の移動体験を生み出すソフトウェアエンジニアのしごと図鑑2025

2025年2月28日(金) 19:00~20:30

未来の移動体験を生み出す ソフトウェアエンジニアの しごと図鑑 2025



● イベント内容

モビリティ業界未経験から活躍するためのスキル & キャリアパスとは？

● 概要

ただ走るクルマを作るだけが
モビリティ業界じゃない。

人々の新しい移動体験を生み出すためには、
ソフトウェアエンジニアのセンスとスキルが
求められています！

IT業界とモビリティ業界の交差点に立つこのイベントでは、若手エンジニアには業界への第一歩を、シニアエンジニアにはリスキングやキャリアチェンジのヒントを余すことなくご提供します！

IT業界出身者がどんなスキルを活かせるのか？
業界特有の課題ややりがいとは何か？...etc

ソフトウェア技術者として次のステップを模索するすべての方に向けた、オンライン・オフラインのハイブリッドイベントです。

普段はクルマづくりの裏方に徹するソフトウェアエンジニアたちの生の声を通じて、モビリティ業界の魅力と可能性を探ってみませんか？

開催日時：2025 / 2 / 28 (金) 19:00 ~ 20:30

開催方法：現地参加 もしくは オンライン配信

開催場所：TIME SHARING 新宿 4 A

アクセス：〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町

1-1-15 東信同和ビル 4 階

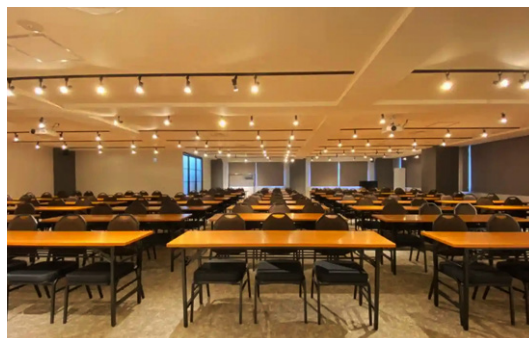
東京メトロ丸ノ内線 新宿三丁目駅 E2 出口より徒歩 3 分

JR各線 新宿駅 東口より徒歩 6 分

西武新宿線 西武新宿駅 北口より徒歩 6 分

東京メトロ副都心線 東新宿駅 A1 出口より徒歩 8 分

● 会場イメージ



● タイムスケジュール

Time	Agenda	Title・Contents	Speakers
19:00 (5min)		開会	
19:05 (10min)	基調 プレゼン	モビリティDX プラットフォーム について	経済産業省 自動車課モビリティDX室長 伊藤 建
19:15 (55min)	トーク セッション	SDV開発に求められる スキルについて	名古屋大学 高田 広章 本田技研工業株式会社 波多野 邦道 トヨタ自動車株式会社 村田 賢一
20:10 (15min)	質疑応答		日産自動車株式会社 村松 寿郎 (モデレーター：ティアフォー 加藤 真平)
20:25 (5min)		閉会	

● 登壇者



伊藤 建

経済産業省

自動車課 モビリティDX室長

2005年経済産業省入省。これまで、質の高いインフラ輸出戦略の推進、世界貿易機関(WTO)ルール交渉、カーボンニュートラルに向けた環境エネルギー政策、医療DXの推進等を担当。人事院留学(米国)、通商政策局アジア大洋州課、貿易経済協力局戦略輸出室、大臣官房広報室 大臣政務官秘書官、産業技術環境局地球環境連携室/対策室、通商政策局通商機構部、厚生労働省大臣官房総務課を経て2023年7月より現職。



高田 広章

名古屋大学
モビリティ社会研究所 所長・教授

1988年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。同専攻助手、豊橋技術科学大学情報工学系助教授等を経て、2003年より名古屋大学大学院情報科学研究科教授。2014年より現職。リアルタイムOS、リアルタイム性保証技術、車載組込みシステム/ネットワーク技術、組込みシステムのディペンダビリティ、ダイナミックマップ等の研究に従事、オープンソースのリアルタイムOS等を開発するTOPPERSプロジェクトを主宰。名古屋大学発ベンチャー企業APTJ(株)を設立し、その代表取締役会長・CTOを務める。博士(理学)、IEEE、ACM、情報処理学会、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、自動車技術会各会員。



波多野 邦道

本田技研工業株式会社
SDV事業開発統括部
エグゼクティブチーフエンジニア

本田技研にて自動運転の社会実装に向けた活動をリード。自工会自動運転部会会長として 国際基準調和、国際標準化に取り組む。自動運転普及に向けた官民連携の取り組みへも参画。自動運転AIチャレンジ実行委員会委員長。



村田 賢一

トヨタ自動車株式会社
デジタルソフト開発センターフェロー

慶應義塾大学大学院計算機科学専攻後期博士課程単位取得満了退学。家電業界にて情報家電やゲーム機等のシステムアーキテクトを歴任。2008年にトヨタ自動車に中途入社し、車載情報システムの先行開発を担当。その後、車載マルチメディア・ナビゲーション・テレマティクスシステムの開発主査やコネクティッド戦略策定推進を担当。トヨタIT開発センター(現在はトヨタ自動車に吸収合併)のCTOなどを経て、2021年より現職。



村松 寿郎

日産自動車株式会社
電子技術・システム技術開発本部 電子アーキテクト開発部 主管
東北大学大学院電気及び通信工学専攻修了後、1991年日産自動車に入社。中央研究所(現 総合研究所)にて車載レーダー、車載マルチメディア・無線インタフェース、EVの価値創造、デジタルラジオでのサービス、コネクティッドカーの研究等に従事。その間に米国カリフォルニア州にて業務研修を1年、米国ミシガン州のNissan Technical Center North Americaに3年間の出向を経験。2011年にコネクティッドカー&サービスのビジネスユニットにて企画・デザインを行い、先行検討チーム立ち上げのため米国シリコンバレーに2年8ヶ月駐在。2016年4月からコネクティッドカー&サービス開発部 主管に着任し、コネクティッドカー&自動運転事業本部を兼務、2017年4月からAD&ADAS開発部を兼務。2019年7月からコネクティッド技術開発&サービスオペレーション部 部長2023年4月からコネクティッドカーオフボード開発&オペレーション部 部長として、コネクティッドカー&サービスのクラウドシステム、Mobile APPの開発及びオペレーション、サイバーセキュリティ等に従事し現在に至る。

〈モデレーター〉



加藤 真平

株式会社ティアフォー 創業者 兼 代表取締役社長CEO
The Autoware Foundation 代表理事
東京大学大学院情報理工学系研究科 特任准教授

自動運転技術のためのオープンソースソフトウェアを進化させたパイオニア、コンピュータサイエンスの国際的な専門家。東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻特任准教授としても活動。2012年から2016年まで名古屋大学大学院情報科学研究科の准教授を務め、世界初の自動運転オープンソースソフトウェア「Autoware」を開発。また、慶應義塾大学、東京大学、カーネギーメロン大学、カリフォルニア大学にて博士研究員として勤務。

・トークセッション

業界で取組む「SDVスキル標準」について紹介するとともに、SDV開発の第一線で活躍するエンジニアが、モビリティ業界で働くやりがいやIT業界のエンジニアの方々が直面する課題や悩みについて下記のテーマ(例)で徹底討論します！

- ・IT業界出身者のどのようなスキルがモビリティ業界で生きるか？
- ・モビリティ業界におけるキャリアパスの展望 - そこに未来はあるか？
- ・いまだ聞けないモビリティ業界でのソフトウェアエンジニアの仕事と働き方
- ・エンジニアのリスクリングって何したらいい？
- ・モビリティ業界ならではのソフトウェアエンジニアが取り組む課題とやりがい



高田 広章



波多野 邦道



村田 賢一



村松 寿郎



〈モデレーター〉
加藤 真平

●参加対象者

- ・自動車/MaaS領域に興味がある方
- ・モビリティ業界にこれから参画してみたいソフトウェアエンジニアの方
- ・情報系/工学系を専攻されている学生の方

●参加にあたっての注意事項

- ・参加を辞退する場合は、詳細ページより申込のキャンセルをお願い致します。
- ・配信映像や音声は各自の通信環境に依存します。なるべく通信環境の良い状態で視聴ください。

●参加方法

「未来の移動体験を生み出すソフトウェアエンジニアのしごと図鑑 2025」のお申し込みはこちらよりお申し込みください。

https://enquete.mobilitydx.go.jp/form/pub/events/work_encyclopedia



自動運転 UX 創造チャレンジ — 本選イベント開催 —

「自動運転の現在地と社会実装の未来ともに考える未来の移動体験」をテーマにアイデア募集をした本イベントは1月24日までに82名41件の応募がありました。予選を通過した計12チームが本選会場に集まり、完成したアイデアをプレゼンする予定です。ご観覧をご希望の方は事務局までお問合せください。

開催日時：2 / 15 (土) 13:00 ~ 18:30

開催場所：日比谷国際ビル

参加料：無料

参加方法：モビリティDXプラットフォーム事務局 (MAIL: mobilityDX@jsae.or.jp) にお問い合わせください。

※参加チーム数など詳細は変更になる可能性があります。

※開催時間に誤りがあり修正いたしました (2/10)

● 審査員

川端 由美

電動モビリティシステム
専門職大学・准教授
ジャーナリスト/ストラテジスト



牛島 秀暢

株式会社ティアフォー
OperationToolTeam
ソフトウェアエンジニア



中尾 裕樹

Mobility Dock 株式会社
取締役 CPO CTO



詳細はこちら <https://bd.techplay.jp/sdv-ideathon>

「自動運転 AI チャレンジ2024」のドキュメンタリー映像公開中！

本年から会場をシティサーキット東京ベイ (お台場) に移し、EVカートを用いて初開催した自動運転 AI チャレンジのドキュメンタリー映像を公開中です。

今回は大学生、社会人だけでなく、高校生の出場もあり、競技に向けたチームの奮闘、工夫、挑

戦が映像に収められています。チームの皆様の熱いチャレンジを是非ご覧ください！ また「自動運転 AI チャレンジ 2025」最新情報メーリングリスト登録受付中です。本競技へのご参加やスポンサーをご検討の方は、下記の URL から是非登録ください。

詳細はこちら <https://www.jsae.or.jp/jaic/2024ver/>



自動運転 AI チャレンジとは

自動車技術会が主催する「自動運転 AI チャレンジ」は、2019年の第1回大会以来毎年開催しております。

ソフトウェア人材の育成を目指す本イベントは予選競技をオンラインのシミュレーターで、決勝競技を実車両を用いて実施しています。

モビリティDX戦略策定後の進捗

国内初！「ひたちBRT」で中型バスによるレベル4運行開始

2021年度より経済産業省と国土交通省が共同で進めてきた「自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト」のうち、茨城県日立市の「ひたちBRT」での取組において、2025年1月24日までに必要な許認可を取得し、レベル4での営業運行が可能となりました。

これを受け、ひたちBRTを運行する茨城交通株式会社によるレベル4でのサービスを、2月3日から開始しました。路線バスで多く使用される中型

バス車両では、国内初のレベル4での営業運行となります。

また、前日2月2日には、加藤経済産業大臣政務官、小川日立市長らの出席の下、ひたちBRTレベル4自動運転移動サービス出発式を開催しました。当日は、日立市民の方々による自動運転バスの試乗会も行いました。この自動運転バスが、地域に根付いた新たなモビリティサービスのモデルとなることを目指していきます。



詳細はこちら <https://www.meti.go.jp/press/2024/02/20250203003/20250203003.html>

モビリティDXプラットフォーム会員による記事 (イベント案内)

とことんわかる自動車のモデリングと制御 2024

●セミナー概要

名称：とことんわかる自動車のモデリングと制御 2024

主催：一般社団法人 日本機械学会

日時：2025年2月17日(月) 10:00～17:10
(18:00頃～参加者・講演者懇親会)

会場：東京カンファレンスセンタ品川 + Zoom
オンライン講演予定

定員：120名、Zoom 100名(計220名)

聴講料：正員および協力・協賛団体会員 10,000円
(学生員 3,000円)、会員外 20,000円
(一般学生 4,000円)

※モビリティDXプラットフォーム会員の方は10,000円

懇親会：会場近辺で実施
(懇親会費は一般3,000円、学生1,500円)

詳細はこちら

<https://www.jsme.or.jp/event/24-152/>

●セミナー参加登録

セミナーへの参加をご希望される方は、下記のリンクから参加登録の完了をお願いいたします。

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/6750084ea458c0268c7a3dce

●講演スケジュール

10:00～10:10	開会挨拶 (企画担当 神奈川工科大学 井上秀雄)
10:10～11:00	【基調講演】クルマのデジタル化が進む時代における車載ソフトウェア開発のあり方 SUBARU 柴田英司
11:10～12:00	センサ電磁波特性からみた走行環境～空間伝搬～センサのモデル化- モデル検証と活用について - BIPROGY 渡邊龍雄、SOKEN 池田正和、神奈川工科大学 水越雅司
12:00～13:10	昼休憩
13:10～14:00	【基調講演】オープンSDVと名古屋大学の取り組み 名古屋大学 高田広章
14:10～15:00	Matlab/Simulinkにおけるシナリオ生成シミュレーションとその活用について MathWorks 大塚慶太郎
15:10～16:00	マルチエージェント交通流シミュレーションを用いた自動走行システムの高度化技法の有効性評価 日本自動車研究所 北島創
16:10～17:00	Tier IVにおけるシミュレーション活用と自動運転アルゴリズム開発 Tier IV 藤井義也
17:00～17:10	閉会挨拶 (自動車技術委員会委員長 神奈川工科大学 山門誠)
18:00頃～	参加者・講演者懇親会(東京カンファレンスセンタ品川ホールN)

一般社団法人 モビリティサービス協会記念講演・懇親会(第1回)

一般社団法人 モビリティサービス協会 記念講演・懇親会

— 第1回 —

●代表理事挨拶 (16:00～16:10)

代表理事：中島 徳至

●講演1 (16:10～16:50)

モビリティDX戦略
におけるモビリティサービス
の取組状況について

講師：伊藤 建氏

経済産業省 製造産業局 自動車課
モビリティDX室長



●講演2 (16:50～17:30)

自動運転技術の普及を
見据えたこれからの
モビリティ社会とは

講師：猪股 博之氏

国土交通省 物流・自動車局
技術・環境政策課 課長



●懇親会 (17:45～19:30)

会員・非会員どなたでもご参加いただけます。
衆議院議員 岩田和親氏 (前 経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣)
をお招きし、来賓としてご挨拶を頂戴する予定です。
ぜひ名刺交換やネットワーキングの機会としてお役立てください。

※プログラムは変更になる場合もあります。予めご了承ください。

開催日時：2025/2/27(木) 16:00～17:30
(受付開始 15:40)

開催場所：AP虎ノ門
東京都港区西新橋1-6-15 NS虎ノ門ビル 11F

参加費：講演・懇親会ともに無料

申込方法：参加ご希望の方はGoogleフォーム
及びメールにてお申し込みください。

[フォーム](https://forms.gle/JuAjjvHxj3itB7Pb7) <https://forms.gle/JuAjjvHxj3itB7Pb7>

[メール](mailto:info@msa.or.jp) info@msa.or.jp

お申し込みがない場合は、ご参加いただけません。定員になり次第応募を締め切ります。

申込期限：2025年2月14日(金)

モビリティサービス協会
会員以外の方も
大歓迎です!

一般社団法人モビリティサービス協会

Email: info@msa.or.jp TEL: 080-3539-9887

モビリティDXに関わる国内外動向について

- WeRide、スイスの自動運転に関する新たなパイロット プロジェクトの技術サプライヤーに選定
➔ <https://www.weride.ai/posts/604>
- 「AI コンテンツを含む」が充実、Yuanrong QixingがスマートにAIカーの共同開発を支援
➔ <https://deeproute.ai/cn/news-show11.html>
- GMS、東海理化、DNPの3社が協業 社用車向けアルコール・インターロック機能の提供を開始
➔ https://news.global-mobility-service.com/assets/alcoholinterlock_GMS_250116.pdf
- 車載ソフト向けファジングテストツール「AutoCrypt Security Fuzzer」を国内初提供
➔ <https://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/news/2025/0121.html>
- 東邦ホールディングス株式会社と株式会社T2との戦略的パートナーシップ構築のお知らせ
➔ <https://t2.auto/news/2025/0121.pdf>
- 東京臨海副都心で自動運転技術を用いた移動サービスを1月22日から提供
➔ https://www.monet-technologies.com/news/press/20250121_01
- チューリング、大規模AI向けの視覚データ圧縮技術を開発 大幅な容量削減と高い再構成品質を両立
➔ <https://tur.ing/posts/RbfvIUyO>
- ホテルで待つだけで診療が完結・救急外来ひっ迫課題と観光客の不安に向き合う事業 医療MaaS「ぬちまーす号」の実証事業を1月24日に開始
➔ <https://medrt.co.jp/pr/pdf/news-2025-0123.pdf>
- eve autonomy、特設ページ「eve auto見学・1day体験」を公開
➔ <https://eveautonomy.com/news/2025/20250124/4756>
- 国内最長距離&国内初の中型バスでのレベル4自動運転の営業運行
➔ <https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=109880>
- NeusoftがZENRINと協力して中国自動車メーカーの海外進出を継続支援
➔ <https://www.neusoft.com/jp/News/html/20250124/4831153634.html>

- 【愛知県名古屋市】ガイドウェイバス（愛称：ゆとリーとライン）への自動運転技術導入に向けた大型自動運転バスによる実証実験に参加をしました
➡ <https://aisan-mobility.com/202412nagoya/>

- ドライブ・インテリジェンス：エッジAIが車両の脅威検知をどのように変化させるのか
➡ <https://vicone.com/jp/blog/driving-intelligence-how-edge-ai-is-transforming-vehicle-threat-detection>

- 和歌山市における自動運転EVバスの実証運行の開始について
➡ <https://www.macnica.co.jp/public-relations/news/2025/146886/>

- TOPPAN、子ども送迎サービス「こどもび®」の提供を開始
➡ https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2025/01/newsrelease250130_1.html

- トヨタ・モビリティ基金、フランスのヴィシー市と共同で、障がい者向け移動ナビゲーションアプリの実証実験を本格的に開始
➡ <https://toyotamobilityfoundation.jp/news/release/0133.html>

- モビリティの電動化やSDV時代におけるリーディングカンパニーをめざした、最適な事業運営体制の実現に向けた組織改正について
➡ https://www.hitachiestemo.com/jp/news/pdf/20250130_2.pdf

モビリティDX会員限定!ニュースレターへの記事掲載をご希望される方へ

本ニュースレターを活用してモビリティDXに関わる情報発信をしたい方は<問い合わせ先>まで氏名、ご所属をご連絡ください!

●掲載に関する詳細は以下の通りです。

- ・ご連絡いただいたタイミングで間に合う号への掲載となります
- ・掲載量は1件につき1/2ページ以内となります
- ・URL等外部サイトへのリンクの記載は可能です
- ・記事に関する問い合わせ先をご記載ください
- ・掲載情報は技術紹介や取り組み事例の紹介に限ります。個社の製品やサービスの宣伝はご遠慮ください。事務局が趣旨に合わない内容と判断した場合はお断りする場合がございます。